

地域課題解決に向けた取り組み実施の進捗状況

※ _____ 部分は第 1 回委員会以降の変更箇所

1. 目的

本委員会において従前から地域課題としている、「就労支援」及び「相談支援体制の充実・強化」の推進にあたっては、令和 2 年度から新たな地域課題に加えた、「障がい（児）者と地域住民の相互理解」が不可欠であることから、これらの課題解決に向けた取り組みの一環として、地域住民及び企業等関係者を対象とした、障がいのある人に対する理解促進・広報啓発に係る各種取り組みを実施する。

2. 取り組み実施の進捗状況

(1) 就労系福祉サービス事業所による授産製品販売及び受注業務の PR 等

地域住民及び企業を対象とし、就労系福祉サービス事業所の授産製品の販売、展示や受注業務 PR を行うことで、障がいのある人に対する理解促進及び事業所の販路拡大につなげる。

会 場：稚内総合文化センター小ホール

※令和 3 年 1 月 15 日～令和 4 年 7 月 31 日まで改修のため休館

開 催 日：会場を使用できる日

開催時間：未定。準備～撤収まで 1 日で完了できる日程とする。

当初は令和 3 年度中に実施予定だったが、就労支援 B 型事業所に参加の意向等を確認した結果、参加する、参加を検討する事業所が一部に限られていたため、令和 4 年度に延期することとした。

(2) 就労支援 B 型事業所を対象とした授産製品販売及び受注業務等の PR イベントに係る調査

(1) の取り組みの企画の参考とするため、就労支援 B 型事業所を対象として、参加の意向等を令和 3 年 5 月に調査した。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加する、参加を検討すると回答したのは 11 事業所中 4 事業所にとどまった。

参加しないとの回答だった事業所の一部は、新型コロナウイルス感染症が収束したら参加を検討する、時期や開催日によっては参加できるとのことだった。

(3) 他の団体等が開催するイベントにおける啓発事業の実施

他の団体等が開催するイベントで、障がい者福祉に係る啓発を実施する。併せて地域づくり委員会の PR も行う。

地域住民に向けた啓発のほか、障がい者本人と家族を対象とする広報・啓発も検討する。例：地域づくり委員会の広報、心身障害者扶養共済制度の広報

令和 3 年 11 月現在、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが軒並み中止となっており、啓発事業実施の機会が見つからない。

今後に向けて、通常であれば開催されているイベントを把握・整理しておく。

(4) 障がいに関する書籍の紹介

事務局が各市町村の図書館を訪問し、障がい者理解促進図書フェアの開催を働きかける。時期は特に定めず通年とする。

対象図書の一例として、障がい理解促進関連図書一覧を提示する。

市町村別の実施状況

① 稚内市

11月26日(金)～12月17日(金)の日程で「障がい」についての理解促進をテーマとした図書展を実施予定。

同期間内に、北海道福祉のまちづくりパネル展(11月26日～12月3日)及び発達障がいについて理解促進を図るパネル展(12月14日～12月24日)を併せて実施予定。

② 猿払村

教育委員会経由で図書館に図書フェア開催を依頼した。図書館ではフェア開催を検討中。

③ その他の町

今後各図書館に依頼予定。

(5) 各種取り組みのPR

取り組みについて、実施前に原則として報道発表するとともに、関係事業者、市町村を通じて広くPRする。

また、委員会ホームページ及び宗谷総合振興局のSNS(資料2参照)を利用し広報を行う。

(4) ①稚内市の図書展について11月17日(水)に報道機関に資料提供。

稚内市立図書館 図書展（「障がい」への理解促進）展示・貸出図書一例

No.	書名	著者	出版社	内容
1	アイちゃんのいる教室	高倉正樹/ぶん・しゃしん	借成社	宮城県仙台市の小学校を舞台に、ダウン症のアイちゃんと通常学級の子どもたちが過ごす日常を写真とともに紹介する。
2	えほん障害者権利条約	ふじいかつり/作	汐文社	2006年に国連で生まれ、2014年に日本へやってきた障害者権利条約。条約がきちんと守られたら世の中はどのようなのでしょうか。障害者権利条約の大切さ・めざす社会をやさしく紹介します。
3	みんなのバリアフリー 1/心のバリアフリーってなんだろう?	徳田克己/監修	あかね書房	障害のある人に気づけている? 身がまえたりしてない? 心のバリアをなくすための5つのステップや、自分の中の心のバリアを探すマンガやクイズを紹介します。
4	障がい者だからって、稼ぎがないと思うなよ。/ソーシャルファームという希望	姫路まさのり/著	新潮社	障がい者だって働きたい、自立したい。そんな「当たり前」を実現させたフレンチレストラン、クッキー工場、ワイナリー、美術館など4つの成功事例をじっくり紹介する。
5	人生バイプレイヤー/きょうだい児を生きる	中沢晴野	文芸社	障害や病気の兄弟姉妹をもつ「きょうだい児」は、いい子でいなくちゃいけない? ダウン症の弟の誕生で、「いいお姉ちゃん」として我慢の人生を歩むことになった著者が、「きょうだい児」としての気持ちを真摯に綴る。
6	光をくれた犬たち盲導犬の一生	今西乃子/著	金の星社	盲導犬候補の子犬を育てるパピーウォーカー、盲導犬にする訓練士、盲導犬ユーザー、そして引退犬を引き取り最期を看取るボランティア…。一頭の犬にかかわる多くの人たちと盲導犬との絆の物語。
7	光を失って心が見えた/全盲先生のメッセージ	新井淑則/著	金の星社	34歳で全盲になった中学校教師が、家族の励まし、視覚障がいの高校教師との出会い、周囲の人たちの支えによって復職を決意。養護学校、盲学校勤務を経て公立中学校教師に復帰するまでを自ら記したノンフィクション。
8	のぶカンタービレ! 全盲で生まれた息子・伸行がプロのピアニストになるまで	辻井いつ子	アスコム	人は幸せになるために、生まれてきたのです。19歳でプロフェッショナルの音楽の世界に足を踏み入れた全盲のピアニスト・辻井伸行。母である著者が、それまでの7年間の歩みを振り返る。
9	耳の聞こえない子がわたります	マーリー・マトリン/作	フレーベル館	内気な少女シンディが引っ越した街には、耳の聞こえない少女ミーガンが住んでいました…。アメリカの日常生活を背景に、ふたりの少女の心情をいきいきと描く素敵な友情のお話。
10	蝶の羽ばたき、その先へ	森埜こみち/作	小峰書房	突発性難聴で左耳が聞こえなくなった中学2年生の結。だが、そのことを親友にも打ち明けられずにいた。悶々とする日々のなか、両耳の聞こえない今日子さんや手話サークルと出会い、新しい一歩を踏み出していく…。
11	手話通訳者になろう	木村晴美/著	白水社	手話がどんな特徴をもつことばなのかを説明し、手話の学び方、手話通訳者のなり方を紹介。さまざまな分野の第一線で活躍する手話通訳者たちのインタビューも収録する。手話の例文を動画で見ることができるQRコード付き。
12	耳の聞こえない私が4カ国語しゃべれる理由	金修琳	ポプラ社	生まれはソウル。4歳で親に捨てられ、6歳で聴覚を失い、12歳のとき母に連れられ日本へ。30歳で外資系一流企業に就職した変わり種キャリアウーマンの、へこたれないトンデモ半生記。
13	ろう者の祈り/心の声に気づいてほしい	中島隆/著	朝日新聞出版	聴覚に障がいをもつ「ろう者」の人々が、厳しい現実立ち向かっていく姿を取材したルポルタージュ。巻末には手話講座も収録する。
14	ぶきっちょとはちがうんだ/統合運動しょうがい	モーリーン・ブーン/著	大月書店	“超・不器用”な統合運動障害の子は、「運動」の情報処理の困難さのみならず、「感覚」の面でも困難さを抱えている。幼稚園、小学校、中学校での課題や、周囲の支援の仕方などを、子どもの目線でわかりやすく解説。

No.	書名	著者	出版社	内容
15	車いすの図鑑/バリアフリーがよくわかる 車いす使用者の気持ちを知るきっかけになる	高橋儀平/監修	金の星社	どんな人が車いすを使用しているのか、車いす使用者が困ることは何か、車いすにはどんな種類や機能があるのか…。車いすに関わる情報を伝えるとともに、道路や乗り物などのバリアフリーについても考える。
16	僕は上手にしゃべれない	椎野直弥	ポプラ社	吃音の悩みをかかえ、中学に入学した悠太。入学式の日には、当然自己紹介があるっていうのはわかっていたが…。著者自身の経験をもとに、吃音に苦しむ少年の葛藤と希望を描いた胸を打つ物語。
17	新しい発達と障害を考える本5/なにがちがうの?自閉症の子の見え方・感じ方		ミネルヴァ書房	自閉症のおともだちの行動や気持ちをわかりやすく解説し、子どもたちの理解を深める本。見え方・感じ方の特徴を取り上げ、授業や活動の中でできる工夫や支援を具体的に紹介する。
18	大人の発達障害/生きづらさへの理解と対処	市橋秀夫/監修	講談社	大人になってから家庭や職場でうまくいかない発達障害のほとんどは軽症の自閉スペクトラム症で、ADHDや、両者を合併している場合もある。子どもの頃には気づかなかった発達障害の、特性にあった対処法を徹底解説する。
19	大人の発達障害/仕事・生活の困ったによりそう本	太田晴久/監修	西東社	ケアレスミス、遅刻ぐせ、空気が読めない、片づけられない、忘れ物が多い…。職場や生活の中で生きづらさを感じている人に向けて、34の「困った」を解決するヒントをやさしく示す。
20	私たちは生きづらさを抱えている/発達障害じゃない人に伝えたい当事者の本音	姫野桂/著	イースト・プレス	ADHD、ASD、LD…。彼らの悩みと望みとは?自身を発達障害ではないかと疑う著者が、発達障害の特性による生きづらさをテーマに、当事者取材する。
21	あなたの隣の発達障害	本田秀夫/著	小学館	いつも約束の時間に遅れる、机のまわりが散らかり放題、企画書や報告書が書けない…。普通に文句を言っても通じない、発達障害の傾向がある人たちとストレスなく付き合うコツや、発想の転換法などを解説する。
22	わたしが障害者じゃなくなる日/難病で動けなくてもふつうに生きられる世の中のつくりかた	海老原宏美/著	旬報社	わたしが病気であることと、「障害がある」ことは、別のこと。わたしの生きづらさをつくりだしているのは、この世の中、この社会。難病をかかえる著者が、これまでの経験とともに、障害のみかたが変わるメッセージを送る。
23	弟は僕のヒーロー	ジャコモ・マツアリオール/著	小学館	僕は5歳のとき、パパとママから弟が生まれると聞かされ、大喜びした。しかも、どうやら弟は「特別」らしい。僕はだんだん「特別」の意味を知り…。19歳の青年が、ダウン症候群の弟との生活を描いた愛と成長の記録。
24	こんな夜更けにバナナかよ/筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち	渡辺一史/著	北海道新聞社	人工呼吸器を着けながらも自由を貫いた重度身体障害者と、生きる手ごたえを求めて介助に通う主婦や学生ボランティア。02年8月死亡した筋ジス患者・鹿野氏と24時間体制で自立生活を支えたボランティア達の心の葛藤を描く。
25	みんながつかうたてものだから	サジヒロミ/文・絵	偕成社	まあちゃんはお父さんたちと市民ホールへでかけました。駐車場、階段、トイレ、ホールの座席、エレベーターなど、みんなが使う建物のさまざまな工夫を、まあちゃんは学びます。建物のユニバーサルデザインのおはなし。
26	新しい心のバリアフリーずかん/きみの「あたりまえ」を見直そう!	中野泰志/監修	ほるぶ出版	障害のある人もない人も、誰もが自由に活動できる社会をつくるには?さまざまな「バリア」を感じている当事者の声を聞き、困っている人を見かけた時に行動を起こせるように、ヒントや実践例を多数紹介する。
27	「お手伝いしましょうか?」うれしかった、そのひとこと	高橋うらら/文	講談社	目の不自由な人、車いすの人、赤ちゃんを連れた人…。さまざまな人たちに対するお手伝いの仕方を、ストーリーとともに、イラストや写真を交えてわかりやすく解説。まめ知識や手助けを望む人からのメッセージも紹介する。
28	伴走者たち/障害のあるランナーをささえる	星野恭子/著	大日本図書	視覚障害だけでなく、自閉症や知的障害のある人といっしょに走る人や、義足のランナーをサポートする人など、さまざまな伴走者取材。彼らの工夫や努力、その思いに焦点をあてて紹介する。